

冬場～春先の葉物野菜の栽培ポイント

ホウレンソウ



土作り：完熟堆肥20kg 化成肥料 N552 1kg サンライム2kg（3坪当たり）

特に酸性土壌に弱く、発芽が遅れるためPHの矯正は必ず実施する。

播種：条間8～10cmの条播きか、ばら蒔きでも可能。

かん水：畝たてや播種前に十分かん水する。種まきから本葉4枚までのかん水は、いずれも葉がぬれる程度のいわゆる葉水とする。

主な病気：コナダ二類・・・ネマモール粒剤30を10a当たり30kg全面施用  
立枯病・萎凋病・・・バスアミド等で土壌消毒する。両剤とも播種前に施用する。

コマツナ



土作り：施肥量はホウレンソウに準じる。土壌の適応範囲は広く作りやすいが、PHは5.5以上に矯正する。

かん水：ベッドを作る前に十分かん水し、生育を均一にする。発芽後は生育中旬まではあまり乾燥させず、後半は水を控えて硬めに育てる。

播種：畝幅120～150cm、条間15～20cm、株間2～3cmに3坪あたり10～15mlで播種する。低温では花芽分化しやすく、特に発芽時から双葉までが感応しやすいので、べたかけ資材等で温度確保につとめる。

主な病気：白さび病・・・シーファイン水和剤1000倍液、ランマンフロアブル2000倍液  
いずれか散布

シュンギク



土作り：完熟堆肥15kg 化成肥料 N552 2kg サンライム1.5kg  
土壌はPH6位目安に矯正する。

播種：畝幅100～120cm、畝間30cm、高さ10cm位の播き幅を作り、畝面を平らに直し、畝に25～30cm間隔の4条播きとする。各条は極浅い溝を切り、すじまきして軽く覆土をする。種子は好光性であるため、厚くすると発芽が悪くなるので注意する。

かん水：播種前と播種後に十分かん水し、乾燥防止にわらや寒冷紗で被覆する。

## 今年の栽培を振り返って～普及員による農業相談～

11月に入り、そろそろ冬の足音が聞こえてくる時期になりました。露地ものの野菜や花はそろそろ終わりを迎える頃だと思いますが、今年度の作物の出来はいかがだったでしょうか？うまいって人もいれば、今年は春先から異常気象に見舞われ、思ったようにいかなかった方もいらっしゃると思います。そこで今回から生産者の皆さんに今年の栽培を振り返っていただき、それを普及員の立場からコメントしていきたいと思います。



生産者直井さん

### 自慢の夕顔に突然苦みのある実が！

私の家では低カロリーで健康に優しいといわれる夕顔を栽培しています。ところが、今年初年りの夕顔を出荷したところ、消費者の方から苦いという苦情が寄せられました。ためしにそれを食してみました、あまりの苦さに驚きました。私はこのことにショックを受け、今年は夕顔の出荷を全て取りやめました。今後は試食してから出荷しようと思いますが、苦い思いをされた消費者の方にはあらためてお詫びをしたいと思います。

夕顔やヘチマ等のウリ科の植物にはククルピタシンという苦み成分が含まれており、通常は苦みの少ない品種が選別され、栽培されています。しかし、ごくまれに今回のケースのような大変苦みの強い夕顔ができることがあります。このククルピタシンを多く含む食品を食べると、おう吐や下痢などの食中毒症状を引き起こすことがあるので注意してください。残念ながら外見で判断することはできず、同じ苗から苦みのない果実と強い苦みをもつ果実が交じることもあります。また、連作に強い夕顔はスイカの台木として利用されていますが、台木からなった夕顔の実も強い苦みをもつことがあります。下手に交雑しないよう、夕顔とスイカは一緒に栽培しない方がよいかもしれません。



普及員



生産者上原さん

### 電気柵設置で効果バツグン！

ここ数年来ブドウ畑にタヌキやハクビシンの被害がひどく、今年はあさつゆ、普及センターの協力の元、電気柵を畑の周囲200mに高さ10～15cm、3段で設置しました。その結果、被害は皆無でした！設備品は9万円（うち3割は補助金）ですみました。これまでの被害状況を考えるともっと早く設置すれば良かったと思っています。

被害がなくなったようで本当によかったです。電気柵は正しく設置し、草刈り等の管理をしっかりすれば非常に効果が高い防除法です。しかし、電気柵を設置するだけで野生鳥獣対策はバッチリというわけではありません。大切なのは、そのほ場が動物たちに良いエサ場だと認識されないようにすることです。例えば、ほ場の中に傷や病気などで出荷できない果実を大量に捨ててあつたりすると、動物はそこを美味しいエサ場だと認識してしまいます。そうすると、電気柵を張っていても中々諦めなくなり、時には強引に侵入してくることもあります。電気柵は確かに有効な対策法ですが、過信は禁物です。



普及員

このほかにも生産者の方々のお話を多数頂いておりますが、紙面の都合上、申し訳ありませんが来月号に回させていただきます。お楽しみに！

### あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

E-mail：asatsuyu.55@ued.janis.or.jp

### 技術事項作成協力

上小農業改良普及センター（近藤・岡崎）

電話番号：0268-25-7156（直通）